



第30回山好きの山の絵展

2021年2月21日~2月27日 於:東京交通会館

中止

アルパインスケッチクラブ創立 30 周年の記念すべき展覧会は、準備万端を整えて搬入を待つばかりであったが、新型コロナ感染は収まらず、諸般の情勢を勘案して中止とした。

ここに陽の目を見なかった第 30 回展をデジタル展示する。実作品ではないが作者の思いを汲み取っていただければ嬉しい。

30回「山好きの山の絵展」出品目録

十里。海	白海山	10.17/
本間 渡	鳥海山	水彩
上林美保子	月山	水彩
小出 和子	モンブラン	水彩
坂西 徹朗	越後三山悠冬	版画
宇田 俊二	平ヶ岳・玉子石と清四郎小屋	水彩
菅沼 満子	八ヶ岳 晩夏	水彩
沼田 希一	蔵王とお釜	油絵
冨樫 信樹	上高地 吊尾根	水彩
笠原 功	白馬三山	水彩
丹野 史子	秋の妙高山	油絵
芳賀 淳子	上高地	アクリ ル
秋山 典彦	美ヶ原の朝焼け	水彩
村尾 元朗	晩秋の唐松岳と白馬鑓ヶ岳	水彩
杉田 博	『蔵王山古道の秋』	油絵
鈴木 捷夫	大山山頂にて	水彩
市毛三朗	オロレフ山羅漢岩	水彩
都﨑 修男	シュレックホルン	水彩
齊藤 幹雄	弥陀ヶ原を眼下に薬師岳	油絵
青木惇子	五月の山稜	水彩
芳野 菊子	入笠山から八ヶ岳	水彩
臼田 毅弘	尾瀬 至仏山	水彩
堀江 伸子	岳沢湿原より明神岳	水彩
原山恵津子	西穂から奥穂へ	パステ ル
清水 節美	入笠湿原	水彩
川村 利子	カラーシャの谷の女(パキスタン)	油絵
松本 博子	後立山連峰	水彩
中川 久	甲斐駒ヶ岳	油絵
田中 正雄	秋の金北山	水彩

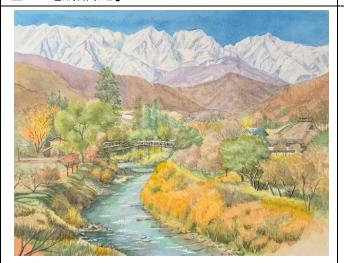
田中 清介	山と湖(スロベニア)	水彩
佐藤 暢子	茶臼岳	水彩
富山 隆	秋 (ウルムチにて)	油絵
大村 春樹	静かに光る高麦山の頂	油絵
篠﨑 正雄	上高地にて	水彩
田村 典子	晩秋の上高地	水彩
原 陽子	穂高連峰	水彩
橋本 久子	サガルマータ	水彩
深川 安明	霊峰富士	水彩
泉谷 崇子	初冠雪の穂高	水彩
長澤 登	朝の燧ヶ岳	水彩
西出早智子	秋の上高地	水彩
倉井 登代	婦人部インド遠征	水彩
佐藤知恵子	会津駒ヶ岳	水彩
川朋子	冠雪の穂高	油絵
朝井紀久子	冷池山荘	水彩
渡邉 嘉也	五竜と鹿島槍	水彩
田中 順	富岳	水彩
小松 忍	白馬三山	水彩
小松 忍	千曲川源流	水彩
柴田 忠雄	新倉山 展望台より	水彩
渡部 温子	霞沢岳とカラマツ林	水彩
高橋 てる子	晩秋の前穂高とナナカマ ド	油絵
小林 浩子	雲湧くキレット	油絵
田辺 寿	雪の岩手山	水彩





2020年11月3日から 5 日、白馬連峰を描こう と仲間 10 名で出かけました。 宿はオーベルジュ千国といってきれいで、落ち着いた宿で、特に食事がすばらしく記憶に残っています。3 日目、野平地区にて白馬三山を描きました。思い出に一句作りました。

【青い空 白馬と黄葉 描き終えて 会えた景色に 感謝満足】



白馬三山と姫川 小松 忍

昨年7月、スケッチクラブの行事として計画した「白馬スケッチ会」は直前のコロナによる緊急事態宣言により中止になった。11月初め、宣言の緩和をみて7月に参加を希望した方達で都合の付く方10名で白馬へ行った。

天気に恵まれ白馬三山、五竜岳などと麓の紅葉 のスケッチを楽しんだ。



上高地 穂高吊り尾根 冨樫信樹

2020年1月16日~18日に幹事の仲間で上高地に入り秋空の下で紅葉の岳沢と穂高と明神までの吊り尾根や焼岳のスケッチを描く。翌日は雨で活動ステーションで恒例のスケッチの見せっこを楽しんだ。18日は快晴で穂高の峰々は新雪に覆われまさに上高地の五段染めで皆さん一斉にスケッチブックに描き込んでいました。

スケッチブックをベースに描いてみました。



千曲川の水源 小松 忍

信濃川上駅から梓山までバスに乗り甲武信ヶ岳を目指したのは十数年も前になろうか。登り坂ばかり、傾斜は段々きつくなり汗をかき2200m位まで来た所に「千曲川、信濃川水源標」の木札が立っていた。岩の間を澄んだ水が少量だが元気よく流れて行く。その時の

感動の記憶と写真を参考に仕上げました。



入笠山より八ヶ岳

芳野菊子

2020年はクラブ創立30周年を記念して、海外登山を初めいくつものスケッチ山行が予定されていました。しかしコロナ禍のためほとんど中止になってしまいました。私が山頂に立つことが出来たのは唯一入笠山だけでした。山頂に立つと八ヶ岳の大きな山体が赤岳を盟主に堂々と立ちはだかり見事な景観を呈していました。



シュレックホルン

都﨑修男

2019年6月まだコロナ禍は想像もしていませんでしたが、高齢化で身体の衰えを日々感じるようになり、これが最後の海外山行と思ってスイスに向かいました。

旧知のグリンデルワルト日本語観光案内所の所長の 車でグリンデルワルトに直行し、毎日スケッチ三昧 の生活で描きためたうちの1枚がこの絵です。



煌めく白馬連峰

村尾元朗

2020年11月 $3^{\sim}5$ 日、スケッチクラブの仲間と白馬に出かける。

比較的天気は良く、1 1月5日、白馬連峰が展望できる野平でスケッチ。

白銀に輝く唐松岳と白馬鑓ケ岳を描くことが出来た。おいしい宿の料理と仲間との楽しい時間であった。



白馬三山 松本博子

11月初旬、高い峰々は早くも白銀に輝き、麓の低山は紅葉真っ盛り。しかも、ウン十年ぶりに仰いだ白馬三山。夢中で稜線を正確にスケッチした。本来は遠景ゆえにボカして描くところを、岩と雪の詳細を記録したくて力が入った。春から夏にかけて使う絵の具よりバラエティに富み、楽しい時間だった。



上高地 芳賀淳子

スケッチを終え、ウエストン祭に向かった。人々の前には例のウエストンのレリーフがあった。その作者・佐藤久一郎氏は JAC の紋章やマナスル隊のキャラバンシューズも自ら考案製作された。満州に行かれお留守中の練馬の佐藤家で、私は生れ、5歳まで育ったことを大変幸運だったと思っている。



尾瀬 至仏山 臼田毅弘

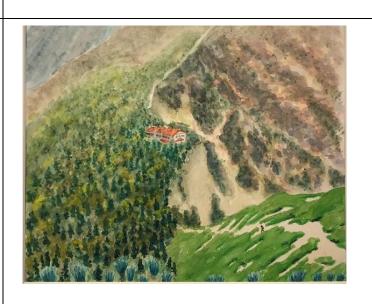
尾瀬ケ原の下ノ大堀川と至仏山はスケッチに絶好のポイントである。 私の好んで描くのは中田代竜宮付近で、白樺やから松の樹林帯の遥か向こうのたおやかな稜線を望むと時のたつのを忘れて筆をとる。朝夕は郭公の鳴き声が遠く、近くにこだまする。 尾瀬の山 どこよりくるる かんこ鳥 弘遠



入笠山 清水節美

入笠山は私の故郷の山で2020年8月にスケック 倶楽部の山行で久しぶりに登りました。

湿原のお花畑の見事の事と木道を歩いた時の心地 よさ、今回の作品は夏の高原の心地よさと歩いてい て楽しかった木道を絵にしてみました。



冷池山荘 朝井紀久子

去年に日本山岳会に入会して、コロナ感染予防でなかなか山行も無い中で、秋に初めて、泊りの支部山行としてあったのが、爺が岳~鹿島槍ヶ岳山行でした。その稜線の美しさに魅了されました。爺が岳を下り、明日登る鹿島槍ヶ岳との間に切り立つ崖の上に、冷池山荘があり、何とも言えない有難さや美しさを感じました。



秀峰、静かに光る高妻山の頂 大村春樹

何年か前に戸隠辺りを歩いた時の印象を油絵で スケッチ風にしたものです。



岳沢湿原から明神岳 堀江伸子

岳沢湿原は上高地の JAC 山岳研究所からほど近く にある湿原です。

紅葉に彩られた明神岳を背景にした湿原の風景。観光客のまばらな朝。柔らかな光に包まれた静かな上高地を描いてみました。



サガルマータ 橋本久子

ヒマラヤ登山で忘れがたい光景がある。8000mを越える高峰は言うまでもないがそれ以上に心に残るのは刻々と変化する空の色である。暗闇から夜明けとともに薔薇色に染まりゆく空。それはじわじわと滲んでくるという感じだ。今まで見えなかった白い尖峰が現れ始める。こんな景色をもう一度見ることができるだろうか。



弥陀ヶ原を眼下に薬師岳 斎藤幹雄

奥大日岳の稜線に天幕を張り北に剣、南に薬師を 飽きるほど眺めた。剣は池ノ谷の暗く深い険谷越し に雄雄しく天を突くように聳えている、が、眼下に 弥陀ヶ原のゆったりと緑の傾斜を引く薬師は大きく 構えて女性的である。この8年後に60歳を記念に薬 師岳の山頂に薬師如来を拝んで感極まって涙した。



蔵王山 沼田希一

2019年10月1日から2泊3日で万座 温泉〜熊野岳〜馬の背〜刈田岳[~]遠刈田温泉 を縦走したときに馬の背から御釜をスケッ チしたものです。刈田神社で手つくりのスケ ッチブックに御朱印をおねがいしましたが、 スケッチと一緒にしないよう神主に説教さ れたのも良い記念になりました。



上高地 穂高 川 朋子

今回、初日は雲が散らばり、2日目は雨が降り、最終日は前日の雨が早朝雪が降り、山は雪化粧、美しい!感激!いつもは、穂高岳の正面を見て描いていたが、左の畳岩の雪の付き方が面白い、黄葉した木々と自分のわくわくした気持ちを描きました。



秋の上高地 西出早智子

2020年10月16日~18日「上高地秋のスケッチ山行」に初めて参加しました。 秋晴れ、雨、初冠雪と個性の異なる秋色を堪能できました。未だ「形」を追う事に必死で自分の描きたいものすら分かっておりませんが、先輩方のスケッチを拝見し、自然を感じる、自然を楽しむ、そして仲間と語り合う、それが第一歩だと教えて



山と湖(スロベニア) 田中清介

もう10年も前のこととなりますが、「ハプスブルク帝国を巡る旅」と称して山仲間とオーストリア、ハンガリー、スロベニア、北イタリア等を旅したことがありました。山や湖、古城など見所は沢山ありましたが、元チトー大統領のゲストハウスから眺めたブレッド湖はとても印象的でした。久々にその時の感動を思い起こし、当時のスケッチをもとに仕上げました。



ヒンズークシュー 川村利子

2006年にヒンズークシュ―山脈縦走に参加した折、入山する前にカラシャー渓谷に立ち寄った。アレキサンダー大王やその家来たちの子孫といわれている黒い服に刺しゅうを施した衣装を老いも若きも子供たちも着ている。私達が行くとめずらしそうにどこからともなく現れ、その時取材した人々をここ10年来山の絵展に出品している。



オロフレ山羅漢岩市毛三朗

オロフレ山は登別温泉から洞爺湖温泉へ通じる道道(北海道では剣道とは言いません)二 号線の最高地点にある1300mほどの死火山ですが立地上大変厳しい気候である反面、1000mくらいまで車道が通じています。豊かな自然に恵まれ多くの登山者が訪れます。積雪期にはこの世のものとは思えないような樹氷、霧氷に覆われ、エゾ松の大モンスターが出現します。この作品は登山道から少し離れた場所からのものですが、登山道はこの稜線にそって山頂を目指します。秋の一日、楽しい写生でした。



上高地 篠崎正雄

スケッチクラブの30周年記念山行とあっては、普段ほとんど顔をださない私も早くから休暇届を会社に出し参加しました。10月16日、特急あずさ号に乗り、昼すぎに上高地入り。清々しい秋の好天のなかで慣れないスケッチ。翌日は1日冷たい雨。18日朝、周りの山々は真っ白な雪化粧。朝日に輝いていました。



鳥海山 本間 渡

古くからの信仰の山である出羽富士(鳥海山2236m)は日本海まで山裾を大きく広げている。 冬の間に降り積もった大量の雪は春と共に豊富な流れとなり、幾条の谷を刻み、多くの湧水をつくりながら日本海と流れ出る。この水は豊かな水田を潤しおいしい稲を育てるとともに海の中では天然の岩ガキや豊かな魚介類を育む。鳥海山は春夏秋、多くのスケッチポイントがありどこから描いてもいい。山の帰りに、海から山を描いてみたくなり、小さな漁港から鳥海山を描いてみた。





穂高連峰 原陽子

昔から行ってみたかった上高地。 スケッチクラブの初めて参加した山行で初め て描いたスケッチです。

初日はお天気に恵まれて、2日目は雨。3日 目は朝早く起きてスケッチに行くと、目の前 の穂高連峰が真っ白になりました。

モンブラン 小出和子

70才からは、オート・ルート、ツール・ド・モンブランをスケッチ、体力、高山植物、出会った人たちとの交流と自分たちに合わせた日程を組んだトレッキングは至上の喜びだった。そんな中でシャモニー谷の対岸からのモンブランはお気に入り。コロナ期間、モンブランのスケッチに人物を入れてみた。



晩秋の前穂高とナナカマド

髙橋てる子

前穂高の美しい姿は、なにも言う事ありませんね。秋の光線や空の色と共に、このナナカマドの赤い實は、演出してくれます。私はそれだけで大感激でした。山の姿そして空の色、又、この赤いナナカマドの實に、感謝感激です。ありがとうございます。自然に山に雪渓に、又もや、ありがとう!!



5月の山稜

青木惇子

燕岳は北アルプスの表玄関に有り、ここから槍への稜線は表銀座と呼ばれ、豪華な名山がずらりと並ぶのが素晴らしい。スキーを脱ぎほっとする春が良い。五月になると大きな雪庇はまだ残っている。氷雪から目覚めたとんがり岩は黒い影を従えて立ち上がり、風化した丸い岩はやさしく輝いている。神様が与えて下さった山の芸術は素晴らしい。感謝して描かせていただきます。



会津駒ヶ岳 佐藤知恵子

高杖スキー場辺りからの眺めです。春の芽吹きの緑が難しい・・・。



美ヶ原の朝焼け 秋山 典彦

2020年は悲しく、つらい1年でした。 コロナ自粛で限られた小屋に泊まって往復する山行。 ひとりで 黙って歩いて絵を描いた。

作品は美ヶ原で 朝 暗いうちから太陽が昇るのを見て、家で描いた。 雲のあいだからゆっくりと日が昇り、刻刻と変る空の美しさを狙った。



平ヶ岳、玉子石と清四郎小屋 宇田俊二

JR 浦佐駅から路線バスに揺られて1時間 10 分そこから 奥只見湖を 40 分乗船

下船して待っているバスに乗って 6 分位で清四郎小屋前に着きます。アプローチが長い。平ヶ岳は往復 11~12 時間ですが、玉子石を往復すると更に2~3時間、水場は池ノ岳の下部、最低でも水は20以上欲しい。玉子石からの池塘風景は素晴らしい展望でした。

清四郎小屋の星週一さんご夫妻に大変お世話になりました。帰りは小出駅まで同行しました。



雲湧くキレット 小林浩子

8月、感染対策をとって、日帰りで西穂を目指した。西穂山荘まではそれほど登りではないが、それでもマスクは息苦しくてはずした。小屋より上は見通しがいいので、人との距離を取るようにして歩いた。独標までは登ったことがあったので余裕だったが、それから先は初めての道で険しい岩場。大小 10 個のピークを越えて行く。前の人との距離を取りつつ、足場をしっかり確認しながら登る。そして頂上。残念ながら穂高の方は雲の中。急いでスケッチして下山。途中道端に真っ白な銀竜草を見つけた。薄暗い森の中に白く美しく光っていた。



越後三山冬 坂西徹朗

昨年の初雪は休む間も無く積りに積もって太郎二朗はとても眠って居られなかった。それから繰り返し寒波が来て丈余りの積雪となった。山々の目覚めは遅れそうだ。天候に一喜一憂する里人達を抱え込むように越後三山は聳え連なっている。そういう風景を描き彫摺る楽しみが続いている。



初冠雪の穂高

泉谷 崇子

2020年10月秋の上高地スケッチ山行に参加させていただきました。初めてのスケッチ。とにかく描けて良かった。皆さんのスケッチや描く姿に感動しながら、私もここから!始めていきたい、「スケッチ」の素晴らしさ、楽しさを教えていただき、みなさん温かく見守って下さる中、最初の一歩を踏み出せました。



甲斐駒ヶ岳 中川 久

宿泊は内の堂のロッジ、食事は村上直温氏の 弟さんの別荘で作っていただく。初日は、小黒川 渓流から、甲斐駒ヶ岳を描く。場所を移動、駒ケ 根から宝剣や空木岳を描く。翌日千畳敷カール へ向かう。視界が悪くスケッチできず帰りに光前 寺に寄り三重の塔を描いた。今は亡き仲間三人 村上直温、笠原健次郎、小野里英次郎各氏の 顔を懐かしく思い出します。



大山山頂 鈴木捷夫

大山は、かって伊勢原で仕事をしていた時、毎 日のように眺めていました。

自分を山登りに誘ってくれた山、塔の岳などと一緒 に足慣らしによく登りました。

山頂手前に鳥居があり、神社の一角が見えます。 振り返ると富士山が眺められます。

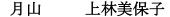
石段最後の所からの一筆です。





佐藤暢子 茶臼岳

昨年からのコロナ禍により、スケッチクラブ での活動も自粛することになりました。そうし た中の GoTo トラベルで久しぶりに出かけた 茶臼岳を描かせていただきました。雲海がと ても綺麗で所々には霜柱もあり、楽しい時間 となりました。なりましたが、また登山して描く 機会が増えてくれればと思います。



庄内平野から仰ぐ春の月山は一年のうちで一番美 しい。一段高く横たわる白く光る峰は西に山がないこと から日没まで光り輝く。それでもそういう日はめったに なく、たいがい雲の中でなかなか姿を現さない。その 美しい姿を絵に表すのは一生かかっても出来そうにな いが、眺める度にスケッチしたくなるのである。





西穂から奥穂へ 原山恵津子

1984年(S59)7/30 西穂山荘泊(前年台風の為 撤退、同日滝谷出会いで仲間が遭難した事を後日 知った) 7/31 小屋3:30西穂5:30間ノ岳から下降、 鞍部から登路はこれが日本の山?という程岩に囲ま れ天狗岳迄楽しい。奥穂迄、目の良い私がトップ。 奥穂~北穂迄その日のうちに。一日中熱い岩を掴 んで登っていたのでクライムグローブの露出してい た指が軽いヤケドでヒリヒリした。北穂小屋17:00。 8/1 小屋~槍~滝谷(慰霊)~新穂高。リーダーから ザックの重量制限を指示されていたが、大キレット通 過直後次々果物を出してあきれられ、そして喜ばれ た。

蔵王山 古道の秋 杉田 博

蔵王と言えば樹氷。東京在職中に奥羽線に寝台車が付く ようになり、随分お世話になった。

蔵王温泉からロープウエイ、リフトが登るようになり地蔵 さんとも顔馴染みになった。その延長で厳冬期の地蔵山 〈1,736m〉熊野岳(1,841m)にも登った。稜線 は結氷が堅くて、ピッケル、アイゼンが欲しくなったのを 覚えている。2017年に日本山岳会から「インド・ヒマ

ラヤ」が出版された。この縁で、東北大学艮崚山の会の 能勢眞人先生から「蔵王は杉田さん、紅葉も見逃さないで

…….」と言われて描いたのがこの絵です」



霞沢とカラマツ林 渡部温子

好きな田代池に行こうと右岸路をとり、ウエストン広場に着いた。ふと見た対岸のカラマツ林を裾に、霞沢岳良いなあと思った。けれども私はすぐにお手上げ状態、遠のく岩山を描けなかった。後日、絵展に来るという友から電話あり、西糸屋のパンフレットに載ってたよとは、嗚呼



霊峰富士 深川安明

水墨画では著名な在日中国人作家の王子江画 伯の個展が銀座で開かれ、何回か通ううちにその 魅力に染まってしまい水墨画の色合いを水彩画に 取り入れたくなりました。5月の快晴の朝、車で中央 高速を走り大月で下りて大峠まで行って駐車。画具 を詰め込んだザックを背負って道なき道を歩くこと3 0分、草樹が抜けて真前に大絶景の富士山がこれ 以上ない美事な姿で現れた。1857mの雁腹摺山 だ、気持ち良く坐り込んで霊峰富士を描きなぐっ た。



鹿島槍と五竜

渡邉嘉也

丸子温泉から美ケ原への道は通行止めであった。写生地を鷹狩山に変え大町の山岳博物館へ向かった。博物館脇の細い山道を登り30分程で展望公園に出た。鹿島槍は見えるが五竜は雲の中、道を美麻村方面に取り20分ほど下ると "絵のような"二山が現れました。 美麻村由久保というところでした。 2020.11.26 画



朝の燧岳 長澤 登

もう久しく訪れていない尾瀬に或る夏の終わりに出かけてみた。学生時代山小屋の主人からの「今年はいつ来るの」といった誘いに乗り、年4回尾瀬に入ったことを覚えている。四季折々変わる尾瀬の景色、醸し出す尾瀬独特の雰囲気が好きだ。今回は小屋を早朝に発って朝霧煙る燧岳を描きに向かった。辺りの空気は冷たく、朝霧が山の中腹まで袴の如く纏い付山は蒼くそびえ水辺に映ってる。絵に取り込む絶好の状態だ。



晩秋の上高地 田村典子

2020年 晩秋、当クラブの宿泊スケッチ行に 初めて参加させて頂いた時のスケッチ2点です。 いずれも、前日の降雪で白く煙った山頂を見つ めながら描いた穂高の山並みです。厳しい冬を 迎える直前、紅葉と真っ白な雪が入り交ざる大自 然の光景に魅了されました。



日本山岳会婦人部インド遠征 倉井登代

1988年インドのシヴァ山(6142m)遠征隊の22人はキャラバンで、いくつかの峠越え。B、Cに着き、C1、C2ルート工作、荷揚げを行い、登頂を開始した。その時、山頂アタックの備前さんは氷壁で滑落、とっさに、田部井さんが滑落者をザイルとピッケルさばき完璧に止めた。備前さんが、再チャレンジをし、難関を切り抜けた。私は靴を貸したため、片足インナーだけで登りに苦しむ「山は足で登れ」と田部井さんの激励。・・・夕方4人が山頂立てた。



雪の岩手山 絵と言葉 田辺 寿

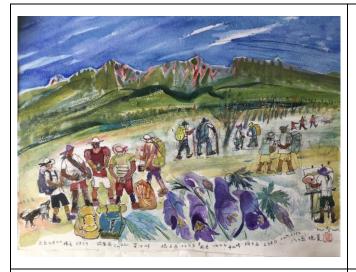
日付は2004年3月10日とある。 あの頃山岳部の後輩が安比のリゾートに住み、 スキーによく出かけていた。 雪の岩手山には何か「大きな山」を感じてスケッチもした。

一人立つ大きな雪の山は今も心に残っている。



新倉公園からの展望 柴田忠雄

モミジの赤、イチョウの黄が秋の快晴の空気のなか富士山がまじかに見える新倉山を目指して石段と坂道を登った。良いスケッチポイントが見つからず困ったが、富士と三重塔が望める場所に折りたたみ椅子を据える。大自然の山と人工の塔の対比を描いたつもりだが、手前の柵が目障りになった出来の悪い絵になってしまった。



八ヶ岳 晩夏

菅沼満子

南麓から見る八ヶ岳は、赤岳が真ん中にいる。その赤岳が左の端にあり、右にはニュウの尖りが覗いている・・・

ここからの八ヶ岳を描いてみたいと思っていた。

そこは小海高原美術館の辺りで、その日は秋 の雲が流れる九月、好天に感謝しつつクラブ の仲間と一緒に絵筆を運んだ。若者のグルー プの声が、弾けるように響いていた。



「西小天地の秋」(ウルムチにて) 富山 隆

数年前、中国ウルムチにある「天地」(海抜 1,800 メートル、伝説もある神秘的な湖)に行き、天山山脈のボコタ山(5,445m)を観ましたが、その「天池」への登山道の途中、「西小天地」なる小さな湖があり、その静寂で美しく清らかな風景に魅せられ、絵にしたいと今回描きました。出来はまだまだですが・・。この延長で一昨年のキルギス・イシククル湖・天山山脈への旅につながりました。



秋の妙高山 丹野史子

秋の晴れた日、リュックにキャンバス詰め、しなの鉄道に乗って妙高高原駅まで行きました。そこから一時間歩いて"いもり池"へ。秋の姿に衣更えした妙高山が目の前に現れ感動です。2時間その姿を描かせて頂きました。幸せな1日をありがとう・・・・



秋の金北山

田中正雄

2020年9月、渡邉嘉也さんの運転で佐渡を巡った。江戸の風情を残す宿根木の宿「花ノ木」は良かった。外海付の岩礁も二つ亀の奇観もスケッチした。巨大な四天王杉も描いた。そして金北山。10数年前に登った思い出も込めてスケッチした。「海付莊」での見せっこ会には同宿のお客さんも参加されて賑やかだった。